

みはま歴史だより

The Letter from Mihama Town Museum of History and Culture

TOPIC

- ・歴史文化館の第3回企画展は、「若狭の海辺に築かれし古墳」
- ・歴史文化館開館1周年を迎えました
- ・文化遺産カード、6種類が新たに誕生
- ・Event Guide（行事のお知らせ）、事業報告、みはま歴史おもしろ展示品

平成29年6月30日発行

● 編集・発行 ●
美浜町歴史文化館

〒919-1138 福井県三方郡美浜町河原市8-8

TEL 0770(32)0027 FAX 0770(32)0615



浄土寺2号墳

歴史文化館では第三回企画展、「若狭の海辺に築かれし古墳」を平成二十九年七月一日から九月二十四日まで開催します。

六世紀後半から七世紀にかけての若狭湾沿岸部の地域では、海浜部を望むように多くの古墳が築造されました。美浜町の乙見古墳や浄土寺古墳群、敦賀市の衣掛山古墳群や穴地蔵一号墳、白塚古墳、そしておおい町のヒガンジョ古墳群や宮留遺跡などを取り上げながら、古墳時代後期に若狭地方で造られた古墳の特徴や、その被葬者像、生業などを紹介します。

今回の企画展の見どころは、平成二五年夏に古墳の一部が発掘調査された美浜町指定史跡・乙見古墳の調査成果が初めて公開されること、そして石柵を石室に備えた敦賀半島周辺の古墳の出土品が一堂に会することです。

歴史文化館の第3回企画展は、「若狭の海辺に築かれし古墳」



乙見古墳

今回の企画展と合わせて、みはま土曜歴史講座（福井ライブ・アカデミー連携講座）の第三、五回講座では、企画展の内容に即したトークセッションや講演が行われます。

第三回と第四回の講座では、若狭丹後、能登、志摩、三河の各地域の海岸部に所在する古墳について、それぞれの地域の古墳研究をリードする若き研究者たちによる研究報告と座談会（トークセッション）を行います。そして第五回講座では高浜町郷土資料館の安倍義治さんが、長く若狭地方の考古学調査に携わってきた経験から、若狭地方の古墳時代や古代を論じます。会場はいずれも美浜町歴史文化館です。

詳しくは、本誌裏面のイベントガイドをご覧ください。

歴史文化館が開館1周年を迎えました

展示室での見学、講座などの受講など、約3,000人の皆様に歴史文化館をご利用いただきました。

歴史文化館が開館して四月一日で開館一周年を迎えました。三月末に建設工事が終了し、慌ただしい中での開館となりましたが、企画展や歴史フォーラム、歴史講座、ワークショップなどのさまざまな行事・イベントや、各種お問い合わせ、二八の団体様のご見学など、三月末日現在で二、八八九名の皆様にご来館いただきました。そのうち、展示室は九三三名の皆様にご利用いただき、さまざまな歴史資料に触れていただきました。

歴史文化館の運営も二年目を迎へ、早速四月には文化遺産カードでお世話になっているNPO法人ニワ里ネットの会員一行のご見学、五月には町内小学校三校の六年生の社会科の授業の一環で当館をご利用いただきました。

企画展やみはま土曜歴史講座、歴史フォーラムなどを通じて皆様のご来館を心よりお待ちしております。また、研修や学習、行楽などでの団体様のご利用についても、お気軽にご相談ください。



ニワ里ネットご一行の見学の様子



美浜東小学校6年生の学習の様子



文化遺産カード、六種類が新たに誕生

七月一日(土)午前9時から新カードの配布が始まります。

NPO法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク様と連携し、当館が平成二八年度に八種の作成を始めた文化遺産カード。おかげさまで、この半年ほどで百名を超える愛好者にカードを手にしていただきました。

当館では新たに、①弥美郷の木簡、②松原遺跡、③早瀬の千歯抜き、④農家の暮らし(きいばす・昔体験農家)、⑤精霊船送り(菅浜)、⑥青蓮寺の大銀杏の六種のカードを新たに作成し、七月一日(土)からカードの一般配布を始めます。

・どうやってもらうの？

美浜町の文化遺産カードになつてい
る場所を実際に訪れて写真を撮つて
てください。そして、その写真をもつ
てカードの配布場所に行つてカードを
受け取ります。写真でなくても、デジ
タルカメラ・携帯電話・スマートフォン
などの画面を見せていただいてもO
Kです。

カードの配布場所は、新カードの①
③は美浜町歴史文化館、④・⑤は美
浜町エネルギー環境教育体験館きいば
す、そして⑥は若狭国吉城歴史資料館
です。

・文化遺産カードとは？

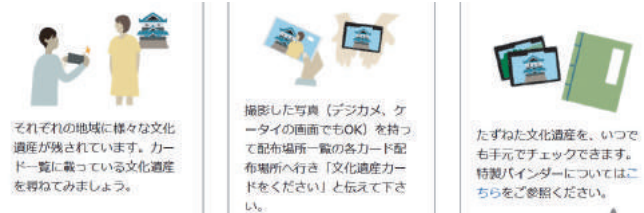
さまざまな文化遺産の活用と周知を
目的として、NPO法人古代瀬波の里
・文化遺産ネットワーク様が自治体と
タイアップして作成しているカードで
す。文化遺産と地域をカードコレクシ
ョンで結ぶもので、実際に訪れてい
ただくことで美浜町にも多くの史跡名勝
文化財などがあることを知っていただ
くためにカードを作成しました。

新しい文化遺産カード 6種類



文化遺産カード公式ホームページ herica.net

herica.net



Event Guide (行事のお知らせ)

みはま土曜歴史文講座 (第3～5回講座)

■第3回講座

日時 平成29年7月22日(土) 13:00～16:00
演題 若狭の海辺に築かれし古墳Ⅰ ～若狭、丹後～
講師 加藤晴彦さん、川嶋清人さん、松葉竜司さん

■第4回講座

日時 平成29年8月6日(日) 13:00～16:00
演題 若狭の海辺に築かれし古墳Ⅱ ～三河、志摩、能登～
講師 山口遥介さん、三好元樹さん、北林雅康さん

■第5回講座

日時 平成29年9月16日(土) 10:00～11:30
演題 若狭周縁の考古学 ～高浜町の古代と御食国、若狭～(仮)
講師 安倍義治さん

事業報告

- 4/9(土) ニワ里ネットワーク様見学
- 4/29(祝) みはま土曜歴史文講座 第1回 開講
- 5/9(火) 美浜東小学校6年生見学
- 5/10(水) 美浜中央小学校6年生見学
- 5/12(金) 美浜西小学校6年生見学
- 5/13(土) みはま土曜歴史文講座 第2回 開講
- 6/9(金) 美浜中央小学校3年生
「町たんけん隊」見学
- 6/18(日) 春江東実年会様見学

みはま歴史文おもしろ展示品(5)

角杯形須恵器(かくはいがたすえき)

美浜町の獅子塚古墳や興道寺窯から出土した角杯(角形の土器)があります。その名のとおり角を模した飲用の器で、古墳時代を中心に日本では近畿地方の外縁地域に特に分布していました。しかし全国的に見れば出土遺跡も出土点数も大変少なく、当時は大変な希少品であったことがうかがえます。

古代には新羅(一部は加耶)という朝鮮半島にあった国に、青銅や陶質土器で作られた5～6世紀の角杯が多く分布していました。角杯が渡来系遺物と言われるゆえんです。この春の大阪歴史博物館の特別展、「渡来人いずこより」への特別出品を終え、現在はまた当館の展示室で再び陳列されています。

歴史文化館のご案内

- [開館時間] 9:00～17:00(入館は16:30まで)
- [休館日] 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始(12月29日～1月3日)・その他
- [入館料] 大人…100円(20名以上の団体の場合 50円) 名以上の団体の場合 無料)
- ※ 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳を所持する方、就学前の幼児は無料。

編集後記

この1年、歴史文化館の開館とともに学芸員として新しいことを経験することが増えました。それまで主に担当してきた埋蔵文化財調査や文化財保護業務に加えて、企画展の開催や歴史講座やワークショップの開催といった歴史文化館ならではの業務も多く、休日出動も大幅に増えましたが、資料館の学芸員として楽しさや難しさを感じながら業務に励むことができました。さらに研鑽に努め、頑張っていきたいと思います。(T.M)